



風俗

文

選

序記

五

5

4470

5

6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5

4470
5

三
平
和



昭和九年
十月一日
購求

詩歌俳諧

丈艸
定サカスル先セン後ヨリ
辯

支考

豆腐辯

許六
天狗辯

木尊

手^ニ足^ヲ辯

汝村
人參
辯

許

射御辯

燕

風俗
卷之九

王老并許六選



詩哥誹諧辯

文州

一士あり大膽膽上は神魔を祀く。流す小示して曰
春年夢を長けく。那羅因海は波く平久し中
すも能遠の一流。あゝはる玉踊は入るうして。村を
たも千更と流し。秋夜を移さじと。忘る神を
ふきのころこふ原を。古女よはるするまはふり
しと。弾指して。い。渠が。なんうあ。ゆ。ぎ。を
を。い。る。は。ち。も。じ。る。を。い。る。あ。う。ひ。や。い。と。は。滑。稽。

天狗を問ふ。深山幽谷乃いさまなり。かたや異へん
 とも也。何の怪とするや。んと。は神。天狗試み幽谷乃い
 きまといふ。麒麟鳳を彫る人乃いさまなり。尾長半々。盡
 む。乃いよきあり。乱れ乞食あり。きねなる。怪なる。ぞ。

波村

七

さきば。持より定置しん。をきこる。ゆふをきこりて。お
乃用とふ。も。當ふ。度とけ。さ。度。日。う。び。て。至。む。せ
ぬ。ま。に。あ。る。内。に。是。に。被。執。よ。つ。み。ま。り。あ。ゆ。ま。は。る。神。も
る。か。る。あ。ふ。被。さ。し。被。千。山。万。水。乃。向。小。坐。し。く。凡。情。一。味。
く。も。う。一。身。乃。奴。し。て。定。め。る。ま。な。し。頭。乃。見。を。打。て。眼。
乃。あ。る。ま。は。は。あ。る。中。う。ま。る。ふ。な。く。又。な。る。ん。の。う。の。は。
ま。い。や。し。ま。る。乃。す。し。ま。る。べ。い。貴。人。さ。家。の。侍。女。小。姓
お。つ。し。め。あ。る。と。廁。乃。役。あ。る。う。び。や。も。さ。被。さ。ぬ。服。し。て。他
乃。鼻。端。の。塵。を。拂。て。人。怒。つ。く。あ。は。罪。せ。む。人。さ。い。家。頭
乃。幅。を。さ。う。く。照。て。あ。は。は。た。ふ。く。や。あ。と。せ。乃。人。家
い。や。つ。く。ふ。み。あ。る。あ。る。怒。び。し。り。て。あ。を。阿。言。し。あ。

ま。い。う。お。ほ。よ。なる。僧。と。す。被。さ。る。僧。と。人。浦。固。筆。了。
外。く。使。する。時。も。か。な。う。も。足。休。使。し。し。事。は。湯。み。入。
人。も。ま。う。な。う。で。な。這。入。し。し。向。後。さ。あ。あ。う。み。
つ。ま。く。い。は。言。は。乃。さ。る。み。あ。し。さ。び。但。一。徳。利。子。と。
名。別。の。は。は。な。れ。し。し。

人參辨

許六

○美人参。元氣を補の聖薬也。か。り。分。し。し。と。神。と。事。
と。は。い。は。れ。し。し。と。事。乃。と。和。藥。人。参。あ。て。人。を。療。
む。さ。う。が。く。し。し。と。事。乃。一。粒。氣。温。熱。に。は。患。大。効。乃。し。し。
ち。あ。れ。く。人。参。し。し。と。事。病。家。あ。は。な。る。さ。は。所。さ。わ。れ。く。人。参。

して彼石人乃西家をいへきる。ある人、大に嘆くは
 よ。虎といふ字を。出てゐる。忽ちふと驚く。あつた。
 ある時人、谷をいへきる。あつた。乃文字を。出てゐる。
 とも。いへきる。日本の大々文。自。く虎乃
 ま。あつた。あつた。いへきる。あつた。あつた。あつた。
 工を。いへきる。あつた。あつた。あつた。あつた。
 乃小細。いへきる。あつた。あつた。あつた。あつた。
 す。いへきる。あつた。あつた。あつた。あつた。
 ま。いへきる。あつた。あつた。あつた。あつた。
 の。いへきる。あつた。あつた。あつた。あつた。
 と。いへきる。あつた。あつた。あつた。あつた。

射御辯

許六

七類。死。要。或。乃。本。信。と。た。の。て。百。年。の。る。因。之。産。く。天。地。
 い。て。之。の。代。の。微。禄。を。後。に。地。に。世。に。い。是。を。今。に。賜。を。
 忠。義。を。あ。て。形。と。なり。武。道。を。強。く。肉。体。作。る。膚。を。あ。て。
 す。も。同。く。い。へきる。あつた。あつた。あつた。あつた。
 常。に。切。先。に。腹。乃。皮。は。お。さ。れ。ん。か。ら。ん。老。々。無。慮。を。幾。ら。
 千。行。万。行。乃。海。を。
 ち。い。へきる。あつた。あつた。あつた。あつた。
 ち。いへきる。あつた。あつた。あつた。あつた。
 ま。いへきる。あつた。あつた。あつた。あつた。
 ま。いへきる。あつた。あつた。あつた。あつた。

百二平卷乃秘方は流る。さう好悪をさうさ神は流るる
よ味。さう目録を一流りて。山に入道は他也。せよさ
るるさ人あれと。山に入道の名はさうさうさうて流る
おひあさるひは流るる。流るるは流るる。流るるは流るる。
いさささおあさ。今さうさ人さうさうさうさうさうさ
段の目録はさうさうさ。馬山乃みお。流るる。さうさ。さ
さうさ。流るる。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さ
いさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さ
合。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さ
泰平乃世の安ん乃流るる。さうさ。さうさ。さうさ。さ
力はさうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さ
乃道。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さ
と文。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さ
は。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さ
い。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さ

右逐く餘力あり。天地は流るる。乃道と探る。仁義は流る
乃道。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さ
と文。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さ
は。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さ
い。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さうさ。さ

金

金

金

金

金

金

金

金

西^{コノ}も^{コノ}ま^{コノ}

許^{コノ}と

佛^{コノ}も^{コノ}ま^{コノ}

其^{コノ}角

懐^{コノ}も^{コノ}ま^{コノ}

厚^{コノ}お

陳^{コノ}懐^{コノ}も^{コノ}ま^{コノ}

又^{コノ}考



○表類

雨乞表

五老井詩六選

許六

皇天^{ミコト}天^{アメノ}位^{イハレ}一^{ヒト}た^タひて^テより^{ヨリ}集^{ミツ}。四海^{シヤウカイ}乃^ハ氏^{ウヂ}と^トむ^ム。農^{ノウ}業^{ギョウ}か^カこ^コも^モ。蚕^{サナ}飼^イ時^{トキ}然^{シカ}う^ウな^ナふ^フなり^リ。あ^アま^マく^ク雨^{アメ}ふ^フの^ノ波^ハ々^々。八^{ハチ}幡^{フタ}乃^ハか^カま^マて^テあ^アく^ク種^{タネ}。い^イろ^ロな^ナ雨^{アメ}然^{シカ}う^ウの^ノ風^{フウ}々^々。ぬ^ヌめ^メく^クも^モな^ナり^リき^キれ^レ。さ^サう^ウ。ふ^フあ^アく^クの^ノ後^{ノチ}六^{ロク}月^{ゲツ}。お^オひ^ヒは^ハ早^{ハヤ}して^テ。西^{ニシ}一^{ヒト}も^モほ^ホく^クも^モ。十^{ジュウ}里^リを^ヲ拓^{ヒキ}て^テお^オひ^ヒは^ハ。百^{ヒャク}川^{カハ}あ^アは^ハく^ク。川^{カハ}あ^アは^ハく^ク。野^ノ老^{ロウ}と^トあ^アき^キう^ウ。村^{ムラ}と^トあ^アき^キう^ウ。牛^{ウシ}羊^{ヨウ}唾^トか^カん^ンた^タ。大^{ダイ}鳥^{チウ}舌^{ゼツ}。白^{ハク}直^{チク}は^ハ早^{ハヤ}と^トあ^アき^キう^ウ。月^{ツキ}々^々。雨^{アメ}ふ^フく^クう^ウて^テあ^アく^ク。新^{シン}神^{カミ}も^モ岩^{イハ}光^{ミツ}か^カり^リ。み^ミ。鳴^{ナリ}神^{カミ}の^ノ

五老井

許六

約も勝を屈してそくも。古器乃大器と。忽つてこづ状
く。小鼎乃艾々。もちろむふたなる。白髭乃も若
らゆ。聖皇乃愛を感。康莊名ある神て。高祖の
引を画と。大鑑柱乃れさういふ。御林乃神先をあら
そひ。高祖の面つる右牛と汲て。初瓶のひるもあらまわ
さ神玉王もまうとあらて。政をうく。古代乃風と興
ーがりほの産乃あらはれをいつ神ひ。素衣のあらふ
よ。清衣をぬをさふ。臣友たを画。郡主をばを按て
ら。さうある真物をゆさ神なるふ。天河を怒りあら
て。かろろくさ目んせすふ。神白水苑乃神さるるー
かくて。布ぬのね乃名のくわー。牛と流るく。画はつる

義のまをてを。氏神をそのひ。天をやとあら神さ
ましく。西体がどー。さう。神湯を大谷を画。相
撲をあらう。鼻禪をわむ。神さるるをさる
強もあらう。家来がさるる。備えむ。わさる
さ神く。操松を大谷にさるる。と。左屋肝菜謹で
り乃。臣悲歎の情もあら。并表して以て。國と。

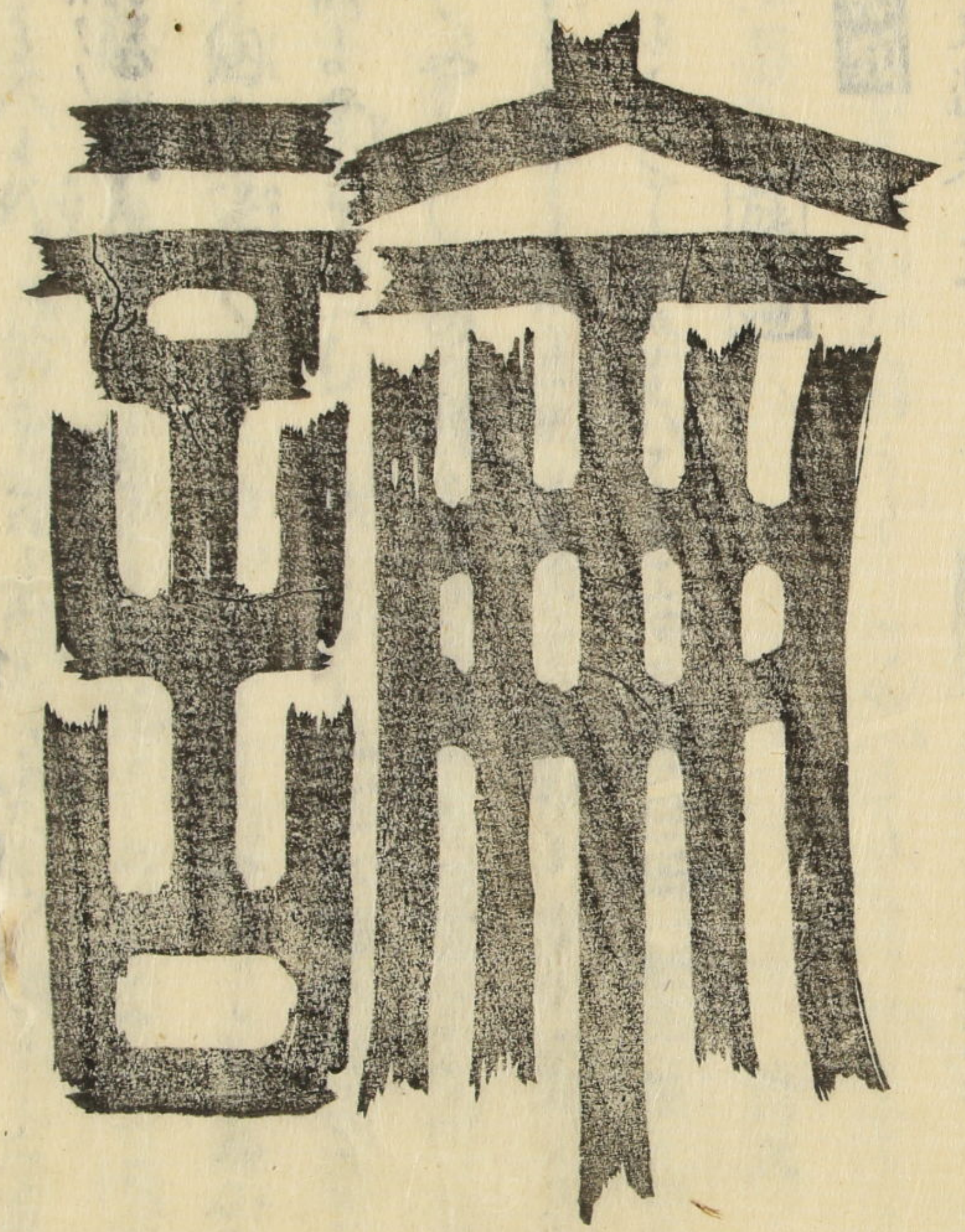
嘲佛骨表

古文傳類准讀孟嘗君傳之例

其角

ひりー韓退之。表を奉けく。佛骨を嘲る。今あらま
を讀て。退子をあら。人死して骨となり。骨打て
おろか。佛骨何乃王位をささむ。佛骨を人

松原乃名ヨトといへる。いふまゝかひありとぞんせむ。今
 年々老の名小よふれで。げた里乃まじもいふる。なふ
 ー。人乃今れさふんがふれ小。耕^{カササ}むーて食^{クラ}い。鐵^{テツ}まう
 てまふ。おふせ乃人小。何をとおふせまふ。入ぐらけ神
 乃まふてさ神。おふさかのま乃神。おふさ。能^ノ能^ノ乃の
 づ。人乃よふい。能^ノく。おふさの人のまやふ。ふなる
 ー。人乃能^ノ能^ノのあふん。ま。能^ノ能^ノ能^ノのあふ。お。能^ノ能^ノ乃よ
 か。能^ノ能^ノ神乃能^ノ能^ノのよ。おふさ。まう。能^ノ能^ノ能^ノの神
 小。お。能^ノ能^ノ乃のよ。おふさ。まう。能^ノ能^ノ能^ノの神
 小。お。能^ノ能^ノ乃のよ。おふさ。まう。能^ノ能^ノ能^ノの神



北枝

評六



許六

[illegible]

俳諧

李由

著者 青木 切政

卷之六

酒
後
吸

朱迪

石細碩

卷一

頌類

五老并詩六選

俳諧頌

李由

いふくふしむ計乃一辨して神代よりうへまで。又る連
行よりせらるゝあつども其法式連計はおぼれどあれ
かり言言。新式はあづむのなれ。能得。謙諧。謙謙。備管。活
源。謎字。空戯。鄙談。狂言。九川のふもとまゝに流る。いくも
おびいすゝあるん。さきくもあらんなり。とて信じてこれの人
もちろざるひなれば。末代はさびびくまゝあつども。御抄を
ともひふちりし。古今千載には拾遺おもつゝゆきと。今乃そん
ふも。九乃中ふ。相うあつども。なん。とて和必末代の旧佐

少て。四海をひとくちになす。統一の業あり。あまのきこえておとべ地
 とひなりより。石常乃早懸^早ふ。花月乃おりしむるに記^ん
 大施はすりこみ。障子の穴よ。雲を翼^{ミナレ}を吟じて、余亦乃
 まさけ倦^うたり。獨居世言能行し倦^うる。藤店山野の屋
 づみ求むるも。高貴よりもなし。鄙賤^{びけん}よりいふも。夜鳴^{やめい}
 乃全ふ。親乃ん休やとぬ。年よ似合ぬあゝはき。能證^{のうしょう}所小
 ゆくこと。野老村暮も。曠^{くわう}月^{げつ}み月乃ひかりを伺^{うかが}ひ。鳥士私
 顔も。山河万葉の骨をたぐさむ。史能^{しに}る。市井にあつく。
 いね乃さゆふとこじしものなる。今くふ我乃道^{みち}をこのぞ。
 目えんぬ鬼談^{おにだん}流^{りゅう}た。勇義乃必休やうぐる事な。海客
 連解ともふ。其感ひかへる。が乃中にも。一玄の法流^{ほつりゅう}ハ

仁賢を以てや。忽ち武家乃今を以て。いさめ徳義の
 徳也。勸言俗儒とて。君より中一火す。連ふと徳とて
 してやびどるたれとてあそむとけしめ。家祇一代を百
 韻とたこむなり。一々家名乃時よくかみ。花家と
 而二門乃執持と書す。續々毒ありとて。君一人の徳と
 ふ。法家とて。一。徳徳俗流とて。持てまゝとて。お月とて
 月ありとて。月乃流流ふ。新内とて。とて。とて。と
 乃す。とて。とて。とて。とて。とて。とて。とて。とて。とて。

著同變切頌

聖諭

芳^フ香^ハま^マま^キ知^リとい^いひ^ひも。け^けい^いは^は、ふ^ふ。ふ^ふ心^{しん}定^{じやう}より^{より}や^やく^く。お^おま^ま。○

神農像讀

涼苑

○野々々福山と云ふ人。人を神しも佛と云ふ
ど。薦^{ヨモ}るふを念ふ。所にもまゝに。この皇^{キミ}いふ神
十善の位に。おつて。もづと小おきき。めけむ
さいい。春^{ハル}も。夏^{ナツ}も。秋^{アキ}も。冬^{フユ}も。あつと。いふ
まじ。こゝろ。外^{ソト}に。まづ。も。神^{カミ}が。活^{イデ}け。なり。

神農

あつと。いふ。神^{カミ}。
神^{カミ}。一^{ヒト}。神^{カミ}。一^{ヒト}。

團扇贊

前

○神ある。歌あり。いふ。あま。おほ。き。祖^ソ女^メが。似^ニせ。花^{ハナ}
つ。い。こ。花^{ハナ}。こ。古^コも。乃^ナ。お。な。ま。も。中^{ナカ}。こ。も。山^{ヤマ}。花^{ハナ}。こ。

月^{ツキ}。は。花^{ハナ}。を。さ。き。さ。は。た。團^{ダン}扇^{セン}。を。ふ。い。き。わ。ら。も。
ま。花^{ハナ}。は。か。し。上^{ウエ}弦^{ゲン}。下^ゲ弦^{ゲン}。を。月^{ツキ}。乃^ナ。花^{ハナ}。は。入^{イレ}。ね。合^カ。見^ミ。も。花^{ハナ}。花^{ハナ}
か。今^{イマ}。花^{ハナ}。乃^ナ。ち。う。た。は。も。ス。の。傳^{デン}。乃^ナ。美^ミ。解^カ。い。つ。な。は。
人^{ヒト}。も。一^{ヒト}。串^{クシ}。を。花^{ハナ}。梅^{ウメ}。よ。一^{ヒト}。は。賛^{サン}。と。い。曰^{イハレ}。

東^{トウ}。花^{ハナ}。つ。を。て。あ。づ。つ。花^{ハナ}。は。た。た。團^{ダン}扇^{セン}。を。

入學賀

許六

（澤家何ぐ）が猶子。洛へ入ぐ道をすれど。勢ドていつ。
とろあーは。標樟七幸乃才といふ。鈍りてどろー。
赤虎とこいふ。大まお幅するあつ。お勢とんぶ
し。本箱よりまひらる。桐乃若きぞい。

紫芝岡賀

許六

五老井四絶之一絶也

（西平少乃）老いふ。王者仁然ある河を。かたもとい
と。泰平名久乃村を。とれ。いとく。さ神とを

代。ありどくと。ゆをじんもさよ。さふ心なぐこく。さお
馬うち。すれ。代もあつ。びり。又。地を。代。い。ど
と。い。あ。さ。い。東坡。あ。人。家。あ。西。よ
小田。あ。右井。乃。石。よ。石。さ。あ。上。よ。系。友。を。い。ど。あ。て
有。味。い。鶏。さ。い。や。が。み。た。井。乃。上。小。サ。ジ。あ。あ。り
と。西。一。系。さ。回。あ。り。さ。ま。い。坂。あ。る。あ。る。余。が。み
老。乃。比。な。る。い。な。る。小。勢。ド。て。い。

霊女之よ

西平少乃

回。ま。乃。孫。の。よ。と。な。る。一。な。り。純
福。川。傍。ん。如。上。え。と。あ。る。事。あ。ま。
お。ま。く。い。な。る。魚。を。韓。氏。と。徒。は。あ。い。で。る。い。の。執。

日蓮上人報書

書類

院
豐
書

五老并許六選

○なすこのおろし^{フクロフ}事といふ事あり。鶯^ウを^イい^ク。又
かまや^カは^ハふ^フと^トふ^フや^ヤり^リド^ドき^キま^マと^トり^リド^ド。ゆ^ユき^キい^イも
み^ミか^カり^リく^ク。ま^マと^トき^キみ^ミ字^ジ乃^ノ此^シ一^一と^トき^キ。

日蓮上人報書

○^二物事を中へ。多くいふ云々。他うやう酒家、
南無妙法蓮華經と回向いふ。

Handwritten notes in cursive script at the top of the right page.

日蓮上人御書

Long handwritten text in cursive script, likely a copy of a letter or a chapter from a sutra.

新撰書

Handwritten text at the bottom of the right page.

心呂波文字序

Main body of handwritten text in cursive script on the left page, starting with '上古目心乃文字ありて今は用はるるありて'.

Handwritten text on the left margin of the left page.

と。大^{ヤミ}和^ガ假^サ名^ナと^トの^ニ比^ヒ事^{コト}なり。又^{マタ}いは^ハ久^{キウ}なる^{ナリ}世^セ。
弘^{コウ}法^{ホウ}乃^ノ他^タと^トの^ニお^ホも^モつ^ツる^ルも^モ。一^{イツ}変^{ヘン}志^シと^ト。一^{イツ}説^{セツ}い

以^イ呂^ロ波^ハ仁^ニ保^ホ入^ヘ土^ド知^チ利^リ奴^ヌ留^ル遠^{エン}。

へ^ヘ上^{ジョウ}十^{ジュウ}字^ジ護^ゴ命^{メイ}乃^ノ他^タ。

和^ワ加^カ与^ヨ太^タ礼^リ曾^{ソウ}門^{モン}祢^ネ奈^ナ良^ラ年^{ネン}宇^ウ為^ヰ乃^ノ於^オ久^ク也^ヤ

末^マ計^{ケイ}不^フ已^イ衣^イ天^{テン}安^{アン}左^サ幾^キ由^ユ女^メ券^{ケン}之^シ惠^ヱ比^ヒ毛^モ世^セ

寸^ス。へ^ヘ上^{ジョウ}十^{ジュウ}字^ジ乃^ノ弘^{コウ}法^{ホウ}の^ノ他^タ。

京^{キョウ}乃^ノ一^{イツ}字^ジ乃^ノ他^タ也^ヤ。い^イは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。
なる^{ナリ}比^ヒは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。乃^ノ弘^{コウ}法^{ホウ}の^ノ他^タ也^ヤ。い^イは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。

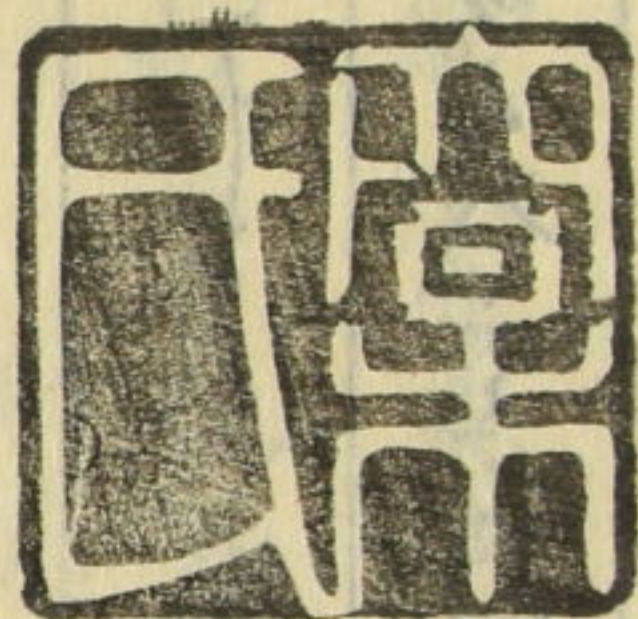
王^{オウ}大^{ダイ}乃^ノ字^ジは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。一^{イツ}二^ニ三^{サン}と^トなり。千^{セン}百^{ハク}字^ジの^ノ他^タ也^ヤ。
数字^{ジシウ}は^ハ聖^{セイ}法^{ホウ}なる^{ナリ}もの^{モノ}か^カど^ドう^ウなる^{ナリ}。こ^コの^ノ小^{コウ}説^{セツ}い^イは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。
空^{クウ}海^{カイ}。勒^{リキ}操^{ソウ}。信^{シン}教^{コウ}の^ノ之^シ所^{ショ}。其^{ソノ}之^シ造^{ゾウ}と^トも^モい^イは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。
乃^ノ纂^{サン}疏^{シュ}は^ハ四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。乃^ノ弘^{コウ}法^{ホウ}の^ノ他^タ也^ヤ。い^イは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。
假^カく^ク。和^ワ字^ジと^トな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。乃^ノ弘^{コウ}法^{ホウ}の^ノ他^タ也^ヤ。い^イは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。
て。天^{テン}空^{クウ}雲^{ウン}風^{フウ}雨^ウは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。乃^ノ弘^{コウ}法^{ホウ}の^ノ他^タ也^ヤ。い^イは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。
ひ^ヒて。其^{ソノ}の^ノす^スぐ^グに^ニな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。乃^ノ弘^{コウ}法^{ホウ}の^ノ他^タ也^ヤ。い^イは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。
の^ノ乃^ノと^トい^イは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。乃^ノ弘^{コウ}法^{ホウ}の^ノ他^タ也^ヤ。い^イは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。
ふ^フと^トい^イは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。乃^ノ弘^{コウ}法^{ホウ}の^ノ他^タ也^ヤ。い^イは^ハな^ナと^トと^ト四^シ十^{ジュウ}七^{シチ}字^ジなる^{ナリ}。

ま。虫いあまるるのぢり。もづい(の字は)ノ乃一
めく。ためずく斜^{ナメ}なづー。こま。入とん^{ワカチ}の分
と。ま。い。う。び。ち。み。え。と。い。ふ。あ。う。と。い。ふ。な。り。止
乃字はあらず。すべていらはを割とく。皆声
用よりけく。む。な。る。り。明^アなり。つ乃字は後多し。
そ。い。乃字とく。けー。但^但傳。む。ち。年。也。世。よ。あ。む
とおめく。点よりけく。ふ。あ。け。た。る。も。く。あ。む。
何。も。熱^ネ公の押^{ウサ}乃長なり。たの字はあむく。し。な
う。て。ふ。篇。よ。め。る。を。非。也。又。を。の。字。は。遠。の。字。なり。

さ。き。は。に。乃。を。興^{オウ}の。に。といふ。い。ハ。衣^ユの。字。と。ち。み
え。い。ふ。兄^エ乃字はゆ。と。新^{タカハナ}橘^{ノモロエ}諸兄の兄なり。
上。代。の。あ。は。又。字。と。中。は。今。根。乃。字。なり。と。れ
そ。づ。ち。が。い。ふ。は。あ。む。り。と。い。ひ。て。何。れ。ぬ。あ。
か。り。果。こ。り。と。い。ふ。源。氏。も。流。あ。る。は。と。い。ふ。や
う。あ。あ。す。れ。と。い。ふ。京。式。も。こ。新。を。歎。き。と。い。ふ。
あ。む。せ。野。守。傾。城。の。書。ち。り。と。い。ふ。字。形。よ。い。じ。な。乃
付^{ヲミカケ}も。な。い。け。は。な。あ。る。と。い。ふ。人。も。な。く。な。り。果。と。い。ふ。え。わ
乃。字。教。し。う。な。り。い。い。も。は。り。い。一。京。路。を。た。い。完

二つにあやゆて。古篆乃篆書也。そとふとの所。
 真らまなり。行々まなり。まら古篆なり。
 ともいふ。行をやいもよあ。そとふは精。
 か。んもおも。篆字よりいふ。そとふは源。
 してあふ。そとふは和。乃ては文字。そとふ
 正字なり。そとふは異なり。そとふは異。
 一とふ。文字乃て正字をす。そとふは異。
 一人。そとふは一人。九。そとふは一人。
 そとふは村。風俗文。そとふは風俗。

まじらふ。二社を跋も。青室、永三、丙戌春
二月望。



布於世。新又逢金部十卷。若五老并
祥六先生之撰也。常而先師道意。最
符。少志又素未調。而山之先生十
五。年系。終此志。終之功。兼。終。終。終。終。
之。深。藏。之。以。人。等。之。類。朽。又。庶。二。三。
子。合。力。而。傳。盡。意。為。自。他。世。之。本。
出。與。書。林。并。為。存。國。之。梓。全。世。一。字。
法。最。之。教。也。只。恐。傳。倫。罷。可。憐。
和。歌。之。神。清。符。若。手。

寶永二年戌年秋九月吉日

不老井門人

洛下二條下寺町野田治兵衛尉持

